

地域主催 市政改革 市民派無所属
府中市議会議員

ゆうきりょう

市政
通信



毎日ブログ更新中

結城りょう



市民の目から見て、府中市内の保健医療機関における新型コロナウイルスのPCR検査の対応はどうなっているのか

第二波、第三波ともいえる新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が広がっています。国内においてもこれから冬に向け、新型コロナウイルスとインフルエンザの「ダブル」の感染拡大が危惧されますが、市民の方からは「いつでも、どこでも、安心してPCR検査を受けたい」という声が聞かれます。厚生労働省は指針のなかで「新型コロナウイルスへの感染が疑われた場合、まずかかりつけ医に相談を」と促しているだけに、府中市の保健行政においても迅速な対応が必要です。その現状は市民の目から見てどうなっているのでしょうか。

かかりつけ医に相談しても『PCR検査センターへの連絡はできません（市内の内科医）』

府中市内の医療機関におけるPCR検査の状況について、市民の方から声がよせられました。「先日、府中市内の某内科を受診した際に、気になる貼り紙がありました。『PCR検査センターへの連絡はできません』という貼り紙の内容です。（新型コロナウイルスの）症状があり、かかりつけ医に相談した場合、PCR検査センターへの連絡ができない医療機関ならば、相談する意味はあるのでしょうか？連絡できる医療機関に再度相談したり、または受診したり、さらには保健所へ連絡したりと、結局のところ「たらい回し」なるのではないのでしょうか？」。

府中市や医師会のホームページでPCR検査について紹介してほしい

「医師会の会員クリニックさんでも、いろいろ事情はあるのかもしれませんが。しかし相談可能な（PCR検査センターへの連絡ができる）医療機関について、府中市のホームページや市の広報に掲載することは難しいのでしょうか。ちなみに隣の武蔵野市の医師会のホームページでは、PCR検査（唾液）可能な医療機関を掲載しています。受診には無症状やいろいろな条件があると思いますが、それでも地域にあると言うことは安心の一つになると思われまます」。

府中市ではPCR検査を受けたくても「たらい回し」になる可能性も

そこで私は、府中市において新型コロナウイルス感染症に関するPCR検査

の対応と現状について、詳しく調査された市民の方からレクチャーをいただきました。

- ①府中市医師会の対応⇒「コールセンターなどを案内して、『各自で確認してもらってほしい』として、医師会としてPCR検査をする病院は案内していない」。
- ②多摩府中保健所の対応⇒「どこの医療機関でどこまで検査ができるのか、把握していない」「（検査する医療機関）各自で確認してほしい」。
- ③府中市の対応⇒「PCR検査の医療機関などはオフィシャルには公表しない」「無症状ではあるがPCR検査を受けたいなどの問い合わせがあった場合は、知りえる範囲で（保健所の）保健師が医療機関を案内する」というのが現状対応とのこと。

この説明からもあるように、今、府中市民の方が新型コロナウイルスに感染した疑いをもった場合、PCR検査を受けたくても、検査する医療機関を教えてもらえず、結局のところ「たらい回し」になる可能性が「ぬぐえない」ということです。新型コロナウイルス感染拡大防止には府中市、医師会、多摩府中保健所の緊密な連携が必要なのですが、この点について、私も現状をさらに調査し、ぜひ12月市議会の一般質問で取り上げたいと考えています。

武蔵野市医師会のホームページでは、「PCR検査（唾液）可能な医療機関」を掲載

武蔵野市医師会のホームページを見ると、トップ画面に「新型コロナウイルス感染」にかかわる内容を掲載。そのページに入ると対応方針ははじめ、「PCR検査（唾液）可能な医療機関」を掲載。市民にとってわかりやすい中身になっています。

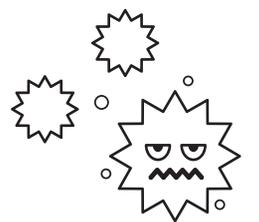
市内の介護老人保健施設で発生した新型コロナウイルスのクラスターを教訓に、市に緊急要望しました

市内にある介護老人介護施設「ウイング」（四谷6丁目）において、計42名の方が新型コロナウイルスに感染するクラスターが発生しました（現在は事業を再開しています）。市内では最大のクラスターです。今回の事態を重く見て、私は会派として市に対して緊急要望を提出しました。

- ①今回の「ウイング」におけるクラスター発生の感染経路と発生した原因について、同事業所におけるこれまでの感染拡大予防対策として講じていた対策、不足していたと思われる対策について市として深く分析し、議会および市民にホームページなどを通じて公開すること。
- ②市内の介護事業所に対して市として、あらためて備蓄マスク、防護服等を確保し、関係職員への配布の徹底、必要に応じて市からも各事業所に対する物資の支援すること。
- ③介護事業所によっては財政的に厳しいところもあり、感染防止対策

について必要な物資を求める事業所に対しては、市からも財政支援などについて検討すること。

- ④今回の「ウイング」におけるクラスターについて、市として独自の判断により感染経路や感染者の症状などについて、市内の介護事業所のケアマネジャーへの報告をすることで、介護現場における情報の共有をすること。
- ⑤新型コロナウイルスの感染で重症化が危惧される高齢者、障害者の方の感染拡大を防ぐために、自治体や施設が民間検査機関と直接契約して、平時から入所者や職員のPCR検査を行うようにすること。



府中駅前再開発事業を問う（1） 高齢者、障害のある方に優しくない街づくりの行政に異議あり

「フォーリス」にあるスーパー「さくら市場館」が11月30日で閉店します
「にぎわい」が失われた府中駅周辺の街づくりのあり方でも疑問な施策が相次ぐ

府中駅前「フォーリス」の中にあるスーパー「さくら市場館」が今月、11月30日をもって閉店します。2017年7月の「ル・シーニュ」完成後、ほぼ誰の目から見ても「くるる」「フォーリス」の店舗に足を運ぶ客が、明らかに少なくなりました。さらに19年9月に伊勢丹府中店が閉店となりました。

市は市街地中心活性化策を講じていますが、この間の施策で首をかしげざるえないことがいくつかあります。1つは「ちょこりん・スポット」を廃止したことです。「せめて甲州街道から北側だけでも『ちょこりん』があったら、もっと府中駅前に買いものに行けるのに」という高齢の方の声を聞きます。「ちょこりん」スポットの廃止により、駅前の買い物で自転車を利用される方には大変不便になったことは間違いないと思われま

府中駅バスロータリーの横断歩道がなくなり、駅の東側への客足が減少、相次ぐ店舗閉鎖へ

さらに府中駅東側の店舗閉鎖が相次ぎました。この背景には府中駅東側に抜ける横断歩道が伊勢丹側の方まで「迂回」する設計にされたことで、府中駅東側の店舗に赴く客足数が激減したことがあります。市は伊勢丹と「くるる」の間を通る道路を相互通行にしました。この事で市は府中駅ロータリーの交通広場の新設により、人の動線を府中駅のペデストリアンデッキを主体にした流れにする構造にしましたが、このことがかえって府中駅東側に赴く客足数、人の流れは明らかに激減したと思われま



駅ロータリーから東側へ横断できる歩道を要望したい（市民の声より）

京王線府中駅のロータリーの横断について、「くるる」の側から「ル・シーニュ」側への横断が、駅の上（ペデストリアンデッキ）にまであがらなくてはなりません。または旧伊勢丹近くと甲州街道側にしか、横断歩道がありません。足を怪我している方や、何かしらの原因で不自由だったり、松葉杖、高齢者、車椅子の利用者の方には、この「三択」は非常に厳しいです。ターミナル内でも向こう岸に横断できるようにしてもらえないでしょうか。

私はまだ該当していませんが、10年前に松葉杖の生活をしていた経験があります。その時、ほんの少しの距離や段差、遠回りを経路

が辛くて大変な思いをしました。今、駅へ上がる入り口が片方を工事していますが、仮に復活したとしても上に上がって渡り、また降りるにも厳しいです。高齢者の方が、途中途中休憩をしながら、ようやく反対側へ渡っていました。

府中市は「健康者目線」でしか考えてない、優しくない街づくりしていると感じています。最近はターミナル内を横切る人が増えてきていますよ。バスもクラクション鳴らしていますが、今の面倒な横断手段しかなければ仕方ないとも感じます。是非、横断できるようにしてもらいたいです。

40%プレミアム付商品券「ふちゅチケ」の応募はがき付チラシの全世帯への配布が遅延、欠配した件について府中市に緊急要望をしました



府中市がコロナ禍で疲弊した地域経済の活性化策として今回実施する、40%のプレミアム付商品券「ふちゅチケ」の応募はがき付のチラシの市内全世帯への配布について、その配布が遅延、欠配しました。私は会派「市民の風」として、この点について、市に対し原因の究明および分析、今後の改善策について府中市議会への説明をすることを要望しました。

今回の事態を受けて市に対し、①町目ごとの配布状況について、業者からどのような説明がなされたのか、②配布が遅れた地域はどこなのか、配布されなかった地域はどこなのか、③市民から市に寄せられた「苦情」「問い合わせ」の件数、④チラシ

配布業者の選定について、以上の点について市議会に説明と報告を求めて要望書を提出しました。

当初の予定より全戸配布の遅延、欠配の件について、この原資が税金であるだけに市民に等しく配布されるべき義務があります。私は市に対し自省と改善策、市議会への報告を求めました。

市民の命、生活をまもるために、令和3年度府中市への予算要望を提出しました

府中市議会議員、結城りょうは一人会派「市民の風」として府中市の来年度にむけた予算要望書を提出しました。全体で〇項目にわたる内容です。子どもたちの教育環境、子育て世代の社会環境、高齢者世帯の生活状況、行政サービスの向上、街づくりに関することなど、多方面にわたり市民の方々からの声を反映させました。この要望を基本に来年度も市政、行政改革のために邁進する決意です。

結城りょうに 府中市政へのご意見、ご要望をお寄せください

ぜひ府中市に対する要望について、新型コロナウイルス感染拡大防止策でしに要望したい方、また市政全般の事柄について、ご要望のある方は、私の下記のメールアドレスに、お気軽にお寄せいただければと思います。こちらからメールで返信もさせていただきますので、よろしくお願いたします。メールアドレス yuki4551@ozzio.jp

電話の場合は、留守電にコメントを入れていただければありがたいです（電話にでれない場合もあり、後程こちらから掛けさせていただきます）。電話 090-4136-7642

住所 〒183-0004 府中市紅葉丘2-6-3 メイプルタウン吉野D202

また私、結城りょうはホームページのブログを毎日更新しておりますので、そちらもぜひご覧いただければ嬉しいです。「ホームページ検索→結城りょう」



府中市議会議員 結城りょう プロフィール
昭和45年（1970年）5月11日生、横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、労働組合事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員（現在、2期目）。所属する委員会は現在、厚生委員会、基地等跡地特別委員会、公契約関係競争入札妨害事件に係る再発防止対策特別委員会、府中市都市計画審議会委員。現在は無所属で一人会派「市民の風」に所属。